

鳴子ダム「すだれ放流」5月2日～5日に実施 5月2日10時オープニングセレモニー

鳴子ダムでは、昭和33年のダム完成当初より、ダムの貯水量を最高水位にしてダム上部より放流を行う「すだれ放流」を実施しており、今年は5月2日（火）～5日（金）に実施します。
併せて、ダム前面に約50匹の鯉のぼりを設置します。今年はダム管理60周年を記念して「赤い鯉のぼり」も登場します。
5月2日10時よりオープニングセレモニーを行い、昨年東北のダムでは初となる「選奨土木遺産」の認定を受け、記念碑の除幕式も行います。

【すだれ放流】

「すだれ放流」は、ダム上部（堤頂越流部）から水を流し、ダム施設の安全を確認するものです。幅95m、高さ約80mの壮大な流れが、すだれのように見えます。

昨年は約5千人が来場し、鳴子温泉地区の風物詩となっております。

【鯉のぼり】

ダム前面に地域の皆様のご協力により製作された「手書きの鯉のぼり」を約50匹設置します。時間帯によって「すだれ放流」に鯉のぼりの影が映し出される「鯉の滝のぼり」が見られます。

今年はダム管理60周年の還暦を記念し、「赤い鯉のぼり」が登場します。

鯉のぼり設置期間は、4月28日（金）～5月7日（日）です。

（設置は4月28日（金）13：00～実施します。）

【セレモニー】

「すだれ放流」実施の5月2日（火）10時に、ダム堤体脇でオープニングセレモニーを実施します。今年は、昨年10月に東北のダムでは初めてとなる「選奨土木遺産」の認定を記念し、記念碑の除幕式も執り行います。

※中止の条件は別紙をご覧ください。

【発表記者会】古川記者クラブ

主催：鳴子ダムすだれ放流実行委員会

（※メンバーは別紙参照）

【問い合わせ先】

（すだれ放流）

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
〒989-6806 宮城県大崎市鳴子温泉字岩淵2-8
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855
○所長 土田恒年 専門官 福士高義



（セレモニー・鯉のぼり）

大崎市 鳴子総合支所 地域振興課内
〒989-6892 宮城県大崎市鳴子温泉字新屋敷65
TEL 0229-82-2026 FAX 0229-82-2533
○鳴子まちづくり協議会担当 主事 山田雅史 主幹兼係長 松岡 治
○観光担当 主査 千葉友和 主査 遊佐祥子

【別紙】

《鳴子ダムすだれ放流実行委員会メンバー》

鳴子まちづくり協議会、NPO法人鬼首山学校協議会、
(一社)みやぎ大崎観光公社、鳴子温泉郷観光協会、(株)オニコウベ、
大崎地域水管理協議会、東北電力(株)、大崎市、鳴子ダム管理所

【すだれ放流・鯉の滝のぼり】



※鯉のぼりの影が滝を登っているように見えます。
写真は14～15時頃撮影

【オープニングセレモニー会場案内】



オープニングセレモニー 次 第

1. あいさつ
鳴子まちづくり協議会 会長
高橋 鉄夫
2. 選奨土木遺産
記念碑除幕式
3. その他

【中止とする場合】

〔すだれ放流〕

洪水が予想される場合、震度4以上の地震が発生した場合などの時に、「すだれ放流」を中止する場合があります。

〔鯉のぼり〕

豪雨、強風等の気象条件により、一時的に撤去する場合があります。

〔セレモニー〕

当日、鳴子ダム管理所が災害による体制を執った場合中止とします。